

平成29年度 志教育全体計画

宮城県工業高等学校

校 訓
誠実 ・ 節度 ・ 創造

生徒の実態、教師の願い
<p>明朗活発で素直な生徒であるが、社会生活のキャリアの欠如が課題。このため企業の技術研修や職場体験及び道徳教育などを積み重ね、豊かな人間性や社会性の醸成に取り組んでいる。教師の願いとしては、社会マナーと勤労意欲の充実、さらに社会貢献を目指す工業スペシャリストに育つことである。</p>

本校の教育目標
<p>教育基本法並びに学校教育法にのっとり、一般教養を高め、専門的な知識・技術の習得を図るとともに、勤労を愛好し、旺盛な責任感と自律・協同の精神並びに倫理観を涵養し、国家及び社会の発展に寄与する、豊かな人間性と創造性を備えた心身ともに健全な工業技術者の育成を期する。</p>

保護者や地域の願い
<ol style="list-style-type: none"> ① 信頼される学校づくりの推進 ② 地域に根ざし地域に開かれた工業高校 ③ 礼儀正しく勤労意欲に富む生徒 ④ 進路希望達成を図る教育の推進 ⑤ 常に前進する工業高校

「志教育」の目標
<ol style="list-style-type: none"> ① 産業社会の変化や生徒の興味・関心、進路の多様な実態等に応じて、選択幅を拡大するなどの教育内容の充実を図り、主体的に学習する姿勢と応用力・実践力の備わった人材の育成に努める。 ② 職場体験や企業技術者による実践授業を積極的に導入し、高度の専門的知識や技術、技能を有するスペシャリストを育成する。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ol style="list-style-type: none"> ① 集団や組織の中で社会マナーを培い、よりよい人間関係を築く力を養う。 ② インターンシップや職場体験、ボランティア活動などに積極的に取り組み、自己理解や他者理解を深化させ、コミュニケーション能力の醸成を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自ら学ぶ学習態度を養い、基礎・基本の定着に努力すると共に、創意工夫を生かして課題解決能力を備え、実践的な工業技術者をを目指す。 ② 視野を広めた進路選択と自分探しに意欲的に取り組み、自己実現に向けてたゆまぬ努力をする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 工業技術者として社会貢献できる人材育成を目指す。 ② 仕事に自覚と責任、そして喜びの感じる技術者をを目指す。 ③ 工業技術者として、常に安全管理の役割を果たす。 ④ 地域社会から求められる責任を自覚し、率先して働くことができる社会人の育成を目指す。

各教育活動における取り組みの観点	
各教科	<p>将来の進路計画及び生き方を模索しながら、基礎基本の定着と専門的な知識・技術の習得にあたる。学習体系は、PDCAの流れを充実させ、評価及び助言を細かに実践し、進路の目標達成に向けて指導する。</p>
道徳	<p>工業技術者としての社会貢献を目標に掲げ、高度な技術習得、豊かな人間性と社会性を養う。指導体系では、礼儀・身だしなみ・思いやりなど校門指導を始めとするキャリアアップの詳細な指導を実践する。</p>
総合的時間	<p>専門的な知識・技術をベースに、生徒が研究のテーマを考え問題解決能力を育む実践教育を実施。グループ制作物や実験では、課題解決や協力体制を必要とし、豊かな感性を育成する授業を展開する。</p>
特別活動	<p>学校生活の集団生活をとおり、社会への積極的な参画、協力、問題解決に向けた姿勢などを身に付ける。また、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図るための能力を養う。</p>
その他	<p>みやぎクラフトマン21の実践事業に組み込み、各種のプログラムを展開している。生徒の職業観を豊かにし、企業人との触れ合いから社会性を養う。</p>

各学年の取組内容	
1年	<p>基本的生活習慣の育成により、自己管理等の徹底を図り、学習習慣を定着させる。また、明確な進路目標を持ち、学校行事等に積極的に参加して、社会に貢献する姿勢の育成を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 進路指導講話や企業工場見学の実施 ② みやぎクラフトマン21の実践指導
2年	<p>中堅学年として意識高揚と基本的生活習慣の確立を図る。心身の健全育成と積極的な諸活動への参加を支援する。職業観の形成と進路の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外部講師によるキャリアセミナーの設定 ② 企業技術研修と工場見学の実施 ③ みやぎクラフトマン21の実践指導
3年	<p>最終学年として3年間の諸活動を充実した内容で締めくく。進路の達成を第一目標にし、併せて健全な社会の一員としての自覚を持たせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「進学ゼミ」や「就職ゼミ」の設定 ② 企業技術研修と工場見学の実施 ③ 課題研究の報告会 ④ みやぎクラフトマン21の実践指導

家庭との連携
<ol style="list-style-type: none"> ① 各種PTA行事や学校行事及びPTA新聞の配布をとおし、家庭との連携を図る。特に授業見学会や課題研究発表会への参加を促し、学校への理解と協力をいただく。 ② 進路説明会やキャリア教育に関する講演会などの実施により、保護者と生徒に進路選択のための情報提供をする。また、学校評価については慎重に取り扱い、学校経営に生かす。

地域・企業との協働
<ol style="list-style-type: none"> ① 地域産業の担い手プロジェクト事業をとおして、企業の技術者からものづくり技術指導と職業観・勤労観の指導をいただく。 ② 自転車マナーアップモデル指定校として、交通安全と社会マナーの指導を強化している。また、吹奏楽部の防犯キャンペーンへの参加や仙台七夕祭り、かたひらwaiwai広場への積極的な参加を行う。 ③ 地域の防災訓練等に積極的に参加し、住民との協働によって信頼を得ている。